

川内川とスポーツ

菱刈カヌー競技場の活用



議 会 み て み て

伊佐市議会だより

61

2024.2.15

歳入歳出予算総額は 201 億 662 万円に

●工事成績評定管理及び入札参加資格審査関連経費 883万9千円

市が発注するすべての請負工事について工事成績評定を実施し、公共工事の品質を確保するとともに請負事業者の適正な選定や指導育成を図る。また、入札参加資格審査について、電子申請を可能としDX※化を図る。

※DX（ディーエックス）：デジタル技術を活用してビジネスモデルを変革すること

●令和6年～8年の債務負担行為※

衛生センター運転保守管理業務 1億2,078万円

ごみ収集業務委託の限度額 2億9,502万円

大口地区 2億3,284万8千円

（可燃物1億2,038万4千円、資源物・不燃物6,534万円、プラスチック4,712万4千円）

菱刈地区 6,217万2千円

※債務負担行為とは？

予算は単年度で完結するのが原則であるが、1つの事業が単年度で終了しない場合に、予め後の年度の債務を約束することを予算で決めておくこと

【問】大口地区が対象物ごとに契約が3つに分かれている経緯と限度額が4倍弱の理由は。

【答】合併前から分けて収集している。ごみステーション数が大口502か所、菱刈155か所。不燃資源ごみ収集コースは大口20コース、菱刈4コース。ごみステーション数や回収量を考慮すると、大口地区は種別ごとに3つに分けて契約しなければ収集ができないため。

【問】前回の予算に比べて委託料の増加は。

【答】3か年で4,227万3千円増加、率では17.7%上昇。運転手確保のための賃金引上げや、車両の維持費、更新費用がかかるとのこと。

【その他の項目に対する質疑】

【問】危険廃屋解体撤去費100万円は5件分か。申請が増えているのか。補助金交付は解体後か。

【答】1件当たり最大20万円で、5件分である。5年度の当初予算500万円に対し申請が12月11日現在で26件、金額で484万8千円と増えている。補助金交付は解体・実績報告後となる。

【問】農業再生協議会への補助金500万円の内容と経緯は。

【答】農業再生協議会が水田活用の直接支払交付金に関する会計検査院の实地検査でハウスの交付対象面積の誤りについて指摘を受け、平成29年度～令和3年度分の返還を求められた。同協議会構成員は市長、JA、市内事業者、生産者、県振興局等、総勢22人で、事務局は市役所に置いてある。平成27年に要綱改正がされたが、再生協議会で解釈を誤った。11月に臨時総会を開催、協議会には自主財源がないため市に補助をお願いすることとなった。今後は疑義があれば国・県にしっかりと確認を取りながら進めていく。

第11号補正予算 2,665万5千円

国家公務員の給与改定に準じ、市議会議員、特別職職員（市長、副市長、教育長）、職員、会計年度任用職員の期末手当に所要の改正を行うもの。

総額 8 億 1953 万 7 千円を可決

第 9 号補正予算 3億6,040万円

●物価高騰対応重点支援 3億6,040万円

地方創生臨時交付金を活用し、住民税非課税世帯及び家計急変世帯に対して7万円給付を行う。5,100世帯を予定。その他の世帯への支援は国が決定してからの対応となる予定。

[問] 庵下信一 議員 今回の支援を含めて、これまでの支援回数と支出総額は。また、支援対象者の推移と執行部の認識は。

[答] 福祉課長 今回を含めて5回目、総額は12億6,185万円。対象は令和3年度10万円給付5,213世帯、4年度5万円給付4,809世帯、5年度3万円給付4,770世帯、今回の7万円給付は5,100世帯を見込んでいる。困窮世帯が増えている状況にはないと捉えている。

第 10 号補正予算 4 億3,248万 2 千円

●子ども子育て関連経費 5,520万円

児童通所支援の利用量や加算等の増額	2,970万円
子ども医療費の給付費の増額	1,280万円
放課後児童クラブの開所日数加算等の増額	1,270万円

●障がい者介護給付費等関連経費 1,590万円

障がい者介護給付費の増額	1,480万円
障がい者の車椅子、補聴器等の補装具、日常生活用具給付費の増額	110万円

●県営農業農村整備事業負担金 400万円

県が実施する基盤整備事業に対する市の負担金
(大田地区ほ場整備、五反田水門、十曾ダム管理施設)

●伊佐堆肥センター負担金 260万円

伊佐堆肥センター所有の堆肥散布用機械等の修理負担金

●ふるさと応援寄附金(ふるさと納税)関連経費 1億9,220万6千円

ふるさと納税寄附額の増加(2億円)を見込む増額補正。返礼品代6,000万円、返礼品送料3,168万円、6つの決済サイトへの手数料等2,785万2千円、ふるさと納税ポータルサイト利用料2,877万4千円、ふるさと納税基金積立4,000万円

都市整備課を新設、林務課を林務耕地課へ

令和6年度からの組織機構の見直し提案される

議案第65号 伊佐市課設置条例の一部を改正する条例の制定について

議案の概要

組織機構の見直しにより課の設置及び分掌事務の変更を行うため、所要の変更を行うもの。

議案への主な質疑

今村 謙作 議員

農政課耕地係を林務耕地課とする目的を詳細に示せ。

企画政策課長

令和3年7月の豪雨による激甚災害に関して耕地災害が多発し、市の技術職員だけでは対応が困難で、約3か月間、姉妹都市である西之表市から技術職員派遣の協力をいただいた。今後、線状降水帯の発生などにより災害復旧関連業務が多発することが危惧される。こうした経験を基に、対応する強固な組織体制の確保と若手職員などの業務に要する技術習得を促進することが重要な課題である。技術職員の集約化により連携体制の

強化や林務耕地に関する相互間の技術習得や人材育成を図り、より効果的な業務実施はもとより災害時等における体制確保に努めることを目的とした。

本案に関連する請願

■件名

伊佐市課設置条例一部改正する条例(案)中、耕地係を林務耕地課に編入する取扱いの部分の中止撤回を求める請願

■委員会における審査

伊佐市土地改良区連絡会議からの参考人の意見陳述と質疑

請願に対する企画政策課の説明

企画政策課長

課でなければ国・県の補助事業を受けられないということはない。農業基盤の強化の促進に関する基本構想をはじめとして様々な計画、プランを作成しており、将来ビジョンを持たずに業務を行っている訳ではない。市としても農業を基幹産業として業務に取り組んでおり、職員数の削減や業務量縮小等の予定はない。今後ともこれまで通り農政課と土地改良区の連携した業務推進をお願いしている。業務遂行に支障をきたすことはないと考えている。

◎委員会における審査の結果

「不採択とすべきもの」
賛成少数により不採択
(賛成1、反対6)

■本会議における討論

反対 岩元 努 議員

土地改良区の事業に関して不安や心配は十分理解できるものの、課設置条例が中止撤回された場合、今後の行政運営に与える影響が大きくなり、組織改革自体を難しくすることが容易に想像できる。

賛成 庵下 信一 議員

農業従事者が減少しても伊佐市民の

請願文書表

請願番号	請願第4号	提出者	伊佐地域土地改良区連絡会議 会長 永吉 弘行 外8人		
受理年月日	令和5年12月11日	紹介議員	庵下 信一 議員		
件名	伊佐市課設置条例一部改正する条例(案)中、耕地係を林務耕地課に編入する取扱いの部分の中止撤回を求める請願	付託委員会	総務産業		
<請願趣旨・理由>					
1、請願の趣旨 伊佐市課設置条例一部改正する条例(案)中、耕地係を林務耕地課に編入する取扱いの部分の中止撤回を求めます。					
1、請願の理由 令和5年度第4回定例会において、伊佐市課設置条例の一部を改正する条例が上程されております。この中で現在、農政課に置かれている耕地係は、新たに改められる林務耕地課の耕地係とし、令和6年4月1日から施行する改正(案)となっております。					
私たち伊佐市各土地改良区は、農政課とりわけ耕地係と『水土里ネットの多面的機能支払交付金事業』でご指導やお世話になっていることは言うまでもありません。令和3年豪雨では山野地区が激甚災害にも指定され復旧工事で、市当局・担当職員の方々に寝食を削る思いで頑張っていたことにも深く感謝しております。					
今回の改正案について、市関係課長の話では「災害対応に熟知した技術職員が少なく先の復旧工事でも西之表市職員の応援をもらい対応した。これからは若い技術職員を集め経験を積みませ機動力を持たせるための改正」との説明でした。					
各土地改良区理事長からは、「なぜ農政課から林務耕地課なのか?」「唐突すぎないか?」「災害対応のための改正案なのか?」の疑問の声と納得できる材料に欠けるとの意見が多く出されています。この背景には、①これまでの耕地課が廃止され、耕地係に縮小となった経緯から国・県の事業採択もほとんどなくなったこと。②農業振興のビジョン、振興策も描けない、日常業務に忙殺されている職員スタッフの現状でよいのか。③衰退一方の農林業ゆえに更に職員も減らされ耕地係の活動・守備範囲も狭まるのではとの危惧の念があるからです。					
私たち土地改良区・農業関係団体の声に今一度耳をかたむけ、伊佐市の基幹産業・農業再生のビジョンを示していただきながら拙速を避け、丁寧なる対応を期待します。したがって再検討をしていただきこの林務耕地課・林務係条例改正部分の撤回中止を求めるものであります。					

財産である農地を荒廃させることなく活かすためのビジョン、方針が示されないまま、林務耕地課に耕地係を配置する検討が先行したことは唐突である。

■本会議における採決の結果

賛成少数により不採択
(賛成5) 遠矢・庵下・前田・畑中・柿木原議員

(反対10) 村岡・星野・竹原・武本・岩元・森山・今村・緒方・久保・福本議員

■組織再編概要

現行	令和6年度から
建設課 (管理係、都市計画係、道路維持・施設管理係、土木係、建築係、住宅係、下水道係)	分割し、都市整備課を新設 [建設課] [都市整備課]
農政課 (農業政策係、担い手支援係、畜産係、耕地係)	鳥獣対策係を林務課から農政課に移管
林務課 (林政係、鳥獣対策係)	「林務耕地課」に課名を改める 耕地係を農政課から移管

議案についての
本会議における審議

■総務産業委員会の審査報告に
対する質疑

畑中 香子議員

畑中 農業基盤の整備で重要な担当係であると言いつながら農政課から林務耕地課への変更によって効果的・効率的になるという理由であるが、その根拠について審議は尽くされたのか。継続審査の意見はなかったか。

委員長 当然、非常に懸念する声が多く出されたが、課長説明で住民サービスについて低下することのないようにすることであった。多数決の結果、不採択となった。継続審査の意見はなかった。

■本会議における討論

反対 庵下 信一議員

農地行政を連携して担う土地改良区連絡会議から提出された請願書の意義は重い。農業関係者、関係団体の皆さんへの説明が十分尽くされていない。

賛成 岩元 努議員

林務耕地課へ編入する目的において、技術者不足の解消と若手職員の技術者育成にもつながる組織改編の一部である。

る。また、今後も土地改良区と行政との連携は変わるものではない。事業執行に影響を与えるものでもないと考えらる。

反対 前田 和文議員

土地改良区は、農業者を見つめ行政と一体となって施策を行っている。人員配置の構成案が示されていないこと、国・県の農業政策の大きな転換点であること、情報共有化に問題が発生する対策がなされていないこと、3つの大きな理由で反対する。

賛成 緒方 重則議員

建設課を2分割して都市整備課を新設、また地域振興課に公園管理係を新設するなど、市民生活や住民サービスの改善に向けた改正であると理解する。ただし、耕地係については更なる業務の取組を要望して賛成とする。

反対 遠矢 寿子議員

土地改良区は公共投資による社会資本の形成である土地改良事業を行政に代わって実施する公共性の強い特殊な団体。事前にいいいな説明を経て合意を形成すべきだった。納得が得られないまま進めると、今後の農政に禍根を残すことになりかねない。

賛成 福本 千枝子議員

一部改正の要因は、令和3年の豪雨

災害時に職員だけでは対応が難しく、西之表市からの応援をもらい対応した経緯から、若手職員・技術職員の育成が必要であると検討を重ねてきたとのことである。専門性の高い課としての素早い対応が伊佐の農地を守ると考える。

■本会議における採決の結果

賛成多数により可決
(賛成10) 村岡・星野・竹原・武本・岩元・森山・今村・緒方・久保・福本議員
(反対5) 遠矢・庵下・前田・畑中・柿木原議員



議案第75号 令和5年度
一般会計補正予算(第11号)

■今回の補正額

2665万5000円

■補正後の一般会計予算額

201億662万円

■議案の概要

国家公務員の給与改定に準じ、市議員、特別職職員、一般職員の給与等について追加の措置を講じるもの。

■本会議における採決の結果

賛成多数により可決

(賛成14) 村岡・星野・竹原・遠矢・庵下・

武本・岩元・森山・今村・緒方・前田・

久保・柿木原・福本議員

(反対1) 畑中議員

議案第81号 伊佐市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

■議案の概要

国家公務員の給与改定に準じ、市議会議員の期末手当に所要の改正を行うもの。

■本会議における討論

■反対 畑中 香子議員

国家公務員の給与改定に準じ議員の期末手当を改定するが、地方公務員や議員特別職は人事院勧告に準ずる義務はない。市民生活が大変な中、自らの

報酬引き上げを可決することに市民の理解は得られない。

■賛成 緒方 重則議員

市民の方々の意見に迎合するだけでなく、議員の待遇については現職である自分たちがしつかり声を上げるべきと思う。それが次世代の議員への責務と考え、賛成する。

■本会議における採決の結果

賛成多数により可決

(賛成14) 村岡・星野・竹原・遠矢・庵下・

武本・岩元・森山・今村・緒方・前田・

久保・柿木原・福本議員

(反対1) 畑中議員

議案第82号 伊佐市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

■議案の概要

国家公務員の給与改定に準じ、特別職の職員(市長・副市長・教育長)の期末手当に所要の改正を行うもの。

■本会議における討論

■反対 畑中 香子議員

議案第81号と同じく、市民生活が困難を極める中、特別職が自らの報酬引き上げを提案することに対して市民の理解は得られない。「お手盛り」との批判を受けてもおかしくない。

■本会議における採決の結果

賛成多数により可決

(賛成13) 村岡・星野・竹原・庵下・武本・

岩元・森山・今村・緒方・前田・久保・

柿木原・福本議員

(反対2) 遠矢・畑中議員

報告第10号

専決処分の報告について

■報告の概要

交通事故に係る和解及び損害賠償の額の決定

■専決処分をした日

令和5年10月13日

■事故の概要

令和5年7月7日、市道交差点において給食配食車が信号待ちにより停車した際、停止線を越えたため後退したところ、後方車両の前方部と接触し、双方の車両が破損した。

■和解及び損害賠償の額

過失割合は市を100%とし、相手方に3万8000円を支払う。

■報告への主な質疑

前田 和文議員

前田 抜本的な注意喚起、そしてまた対策をどのようになされているか。
総務課長 バックをする場合は助手席者が降りて後方確認してからバックするように十分周知している。補完と

して、バックモニターを付けるため補正予算を計上した。

報告第11号

専決処分の報告について

■報告の概要

車両損壊事故に係る和解及び損害賠償の額の決定

■専決処分をした日

令和5年10月13日

■事故の概要

令和5年7月24日、市道脇において市会計年度職員が除草作業中に刈払機によつてはじかれた石が、駐車していた相手方車両のフロントガラスを破損した。

■和解及び損害賠償の額

過失割合は市を100%とし、相手方に6万622円を支払う。

■報告への主な質疑

前田 和文議員

前田 抜本的な注意喚起、そして対策をどのようになされているか。
建設課長 刈払機を使用する際に、道路を走る車両だけではなく、周辺の家屋の状態、人家に駐車してある車両も確認し、細心の注意を払い作業を進めていく。

全会一致で可決・同意した議案

議案番号	件名・概要	審査委員会
64	令和5年度伊佐市介護保険事業特別会計補正予算（第2号） ・補正額 588万2,000円追加 ・補正後の予算総額 33億2,906万4,000円 <補正の概要> 介護保険基幹システムの移行に対応する職員の超過勤務手当121万4,000円、令和6年度からの制度改正に対応するためのシステム改修委託料303万円、令和4年度地域支援事業交付金精算に伴う国・県への返還金76万5,000円、他。	文教厚生
66	伊佐市税条例の一部を改正する条例の制定について 議案の概要 軽自動車税の納期（現行「4月11日から同月30日まで」）を令和6年度分から「5月1日から同月31日まで」と変更するもの。	総務産業
67	伊佐市ひとり親家庭等医療費助成条例及び伊佐市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について 議案の概要 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律の一部改正に伴い、文言や条項を整理するもの。	—
68	伊佐市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について 議案の概要 地方税法の一部改正に伴い文言や条項を整理するもの。	—
69	伊佐市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 議案の概要 就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部改正に伴い文言や条項を整理するもの。	—
70	財産の取得[*]について 議案の概要 小学校教師用指導書等（教師用教科書2,086冊、指導書1,259セット、デジタル教科書84ライセンス）を5,119万2,824円で取得する。（ [*] 予定価格2,000万円以上の動産の買い入れについては議会の議決に付さなければならないとの市条例の定めがある。）	—
71	教育委員会委員の任命について 議案の概要 長野吉泰氏を再任するもの。任期は令和9年12月11日までの4年間。	—
72	固定資産評価審査委員会委員の選任について 議案の概要 桐原茂太氏（再任）、上蘭信行氏（再任）、大塚左文氏（新任）を選任するもの。任期は令和8年12月11日までの3年間。	—
73		
74		
76	令和5年度伊佐市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） ・補正額 112万1,000円追加 ・補正後の予算総額 36億844万4,000円 <補正の概要> 職員及び会計年度任用職員の給与改定等に伴うもの。	—
77	令和5年度伊佐市介護保険事業特別会計補正予算（第3号） ・補正額 87万8,000円追加 ・補正後の予算総額 33億2,994万2,000円 <補正の概要> 職員及び会計年度任用職員の給与改定等に伴うもの。	—
78	令和5年度伊佐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） ・補正額 45万6,000円追加 ・補正後の予算総額 4億8,923万1,000円 <補正の概要> 職員及び会計年度任用職員の給与改定等に伴うもの。	—
79	令和5年度伊佐市水道事業会計補正予算（第2号） ・補正額 <収益的収入及び支出> 支出において水道事業費用を56万6,000円追加 <資本的収入及び支出> 支出において資本的支出を13万3,000円追加 ・補正後の総額 収益的収入 3億5,440万3,000円 収益的支出 3億2,444万8,000円 資本的収入 1億4,940万7,000円 資本的支出 2億5,724万7,000円 <補正の概要> 職員及び会計年度任用職員の給与改定等に伴うもの。	—
80	令和5年度伊佐市農業集落排水事業会計補正予算（第2号） <収益的収入及び支出> 支出において農業集落排水事業費用を4万2,000円追加 <資本的収入及び支出> 支出において資本的支出を7万4,000円追加 ・補正後の総額 収益的収入 1億7,571万3,000円 収益的支出 1億7,419万6,000円 資本的収入 5,436万5,000円 資本的支出 1億1,718万5,000円 <補正の概要> 職員及び会計年度任用職員の給与改定等に伴うもの。	—
83	伊佐市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について 議案の概要 国家公務員の給与改定に準じ、職員の給料月額等に所要の改正を行うもの。	—
84	伊佐市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について 議案の概要 国家公務員の給与改定に準じ、会計年度任用職員の期末手当に所要の改正を行うもの。	—



伊佐市の情報発信は？

市長／継続してしっかりとバックアップしていく

村岡 強志 議員



問 デジタルデバイド問題解消に向けて、当局はどのように考えるか。

答 商工会や市内事業者の方々や連携した取組や、市民のニーズに応じた専門的な情報の提供にも努め、市民が情報通信機器の利便性などをより感じることができるよう努める。

答 継続していくことでしっかりとした結果は見えてくる。そのいい傾向としても見え始めてきて

いるのは事実である。このような流れが止まらないように、当局としてはしっかりとバックアップしていきたいと思っ

公立学校施設空調設備について

問 年々気温が上昇し始めており、熱中症等のケースも多くなる中、本年度においては11月に熱中症になる方々もいるような状況である。小中学校の運動会など行事の時期をずらした開催が今後考えられる中、公立学校の体育館の空調設備は見直す時期にあると考えるがどうか。

答 市内公立学校の普通教室は100%整備をし

ているが特別教室は34%である。まずは特別教室の空調設置をしっかりと行い、子どもたちの学びの環境を整えることを優先しながら考えていく。

デジタルデバイドとは？
インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差のこと。

かごしま国体カヌー競技の検証は

市長／カヌー合宿の誘致に取り組む 福本 千枝子 議員



問 51年ぶりの特別国民体育大会。白波スタジアムにおいて、天皇皇后両陛下のご臨席の下、開会式が開催された。本市で

はカヌースプリント競技が開催され、地元選手の活躍で素晴らしい成績を収めた。4日間のカヌー競技の集客数、宿泊や弁当・お土産などの経済効果は。高校生などのボランティア活動の検証は。

答 選手・監督、大会関係者、来場者を含め約1万人。県の経済効果は619億円と試算されたが、地元への経済効果もあった。高校生には、この経験を今後の人生の中で生かしてほしい。

問 対岸での小学生連の応援に力をもらったが、市民の応援が少ないと感じた。周知はどうだったのか。また、今後のカヌー合宿の誘致は。

答 ポスターやのぼり旗、横断幕の掲示、ドラゴンボート大会の開催、学校や各コミュニティ協議会への周知をしたが、市民に参加してもらうことも大事と反省した。現在パラリンピックの日本代表候補選手が年間を通して合宿しており、各団体等と連携を取りながら進めていく。



空き家対策について

問 特別措置法が一部改正され、市区町村が緊急代執行できるとある。伊佐市の居住目的のない空き家率は全国でも高く21%である。危険家屋の状況は。空き家の利活用は。

答 菱刈前目地区の1物件を審議会で特定空家等に認定した。羽月駅前の物件は10月に解体され、羽月小近くの空き家は現在対応している。空き家の改修等については補助金制度がある。

【その他の質問】
特別支援学校の分置について

除草剤埋設地周辺地下水の水質検査は

市長／ダイオキシン類は検出されていない

柿木原 榮一 議員



問 青木上・山野西地区の除草剤を埋め込まれた場所は怎么样了っているか。

答 年2回の定期点検と

梅雨時期及び台風通過後に臨時点検を北薩森林管理署が実施しており、環境政策課職員も立会いを行っている。

問 周辺地下水の分析はしないのか。

答 北薩森林管理署で、令和3年度から1地点につき3か所ずつ、計6か所で水質検査を行っている。全て環境基準を下回っているという報告を受けている。今年度の実施予定はない。



布計鉱山鉱害防止事業について

問 布計の第2鉱さい堆積場安定対策工事の現状は。全部でどの程度かかる予定か。

答 令和4年度は、仮設工事の工食用架設工を行い、現在、仮設工事の工食用道路と安定対策工事の地盤改良工を施工中である。計画では、10億1300万円である。

問 集積場が40haと積算している。事業工期が令和4年度から4年間の計画であったが、令和7年に終わるのか。

答 令和7年度に完了する計画である。予算や施工内容等について、経済産業省九州保安監督部と随時協議を行なっている。



再生可能エネルギー（温泉熱）への取組は？

市長／情報収集集中である

前田 和文 議員



問 再生可能エネルギー問題は、エネルギーの安全保障に直結する問題であり、今、国も総力を挙げて取り組んでいるが、本市の状況を問う。

答 温泉スケールが付着しやすい温泉水でも安定した熱交換が可能な熱交換器を開発している。持続的な温泉熱を有効利用することで、地域社会の維持可能性は高めることができ、地域資源を最大限に活用し、CO₂排出を削減することにより、地球環境にもよい影響を与え、且つ伊佐の産業の有様にも貢献する重要な手段であることは間違いないことだ。研究機関と国・県・市と市民、三位一体となった取組を大いに進めるべきであると考えられている。

問 再生可能エネルギーの問題は、エネルギーの安全保障に直結する問題であり、今、国も総力を挙げて取り組んでいるが、本市の状況を問う。

答 スピード感を持って進めていくのが当然だと思つ。上手くいくという状況が見込まれれば国・県に要望し予算獲得に努める。また鹿児島県で一番寒い伊佐地域が、逆に暖房エネルギーについて一番可能性のある地域だと思つている。農水省等の理解も得ながら、可能性のあるものについては要望を強く展開していきたい。



問 諸問題を解決するために、NEDOや東北大学、金属機器メーカーが、

答 脱炭素エネルギーの一つである温泉熱利用は、県外先進事例の視察については、市長をはじめ地域振興課の担当職員も同行し研修を行っている。また先進地の専門家や関係者の方々と現場検討、意見交換等を行っている。現在は、菱刈鉱山の協力を得て、鹿児島県が実施主体となつて、その有効活用の可能性調査に取り組んでいる。

問 諸問題を解決するために、NEDOや東北大学、金属機器メーカーが、

答 スピード感を持って進めていくのが当然だと思つ。上手くいくという状況が見込まれれば国・県に要望し予算獲得に努



市長の考えるまちづくり構想

市長／将来ビジョンを反映していく

森山 良和 議員



問 伊佐市が思い描くまちの姿とは。

答 コンパクトシティは以前から議論になっており理想ではあるが、なかなか厳しい部分がある。国の施策をそのまま活用することは、現実的ではないと思う。全体の伊佐市としてのバランスをしつかり守っていくことが、私は伊佐市の目指す将来像だと思っている。

問 市長の考えるまちづくり構想、将来ビジョンは示しているのか。

答 総合振興計画などにおいて、総合的なことで計画を載せている。自身の将来ビジョンを今後この計画の中にもしっかりと反映していかなければ

いけない。いろいろな意味で、計画の中に私の考えは網羅しているが、具体的に細かいものについては、今後いろいろな形で説明をし、協議もしなければいけない。

公文書のデジタル管理保存

問 現在の保存環境、保存状態、課題は。

答 庁外書庫は常時職員が在籍する空間ではないため、空調管理等はしていない。長期保存の紙文書には、著しい劣化で文字や図面の識別が困難になっているものもある。庁外書庫に保存している文書の確認が必要となるとき、職員が直接対象文書を探

しに行く必要があるなどの課題もある。

問 紙ベースでの管理保存を電子化していく考えはないか。

答 現在、管理保存している紙文書については、電子化していくことの検討も進めている。しかし、全ての紙文書について電子化することは、費用対効果の面で現実的とは言えない。文書規程の見直しなどを推進した上で、必要と認められる紙文書の電子化を進めていきたい。

子どものインフルエンザワクチン助成を

市長／任意接種のため今後検討が必要

武本 進一 議員



問 子育てに優しい取組の一環として、子どものインフルエンザワクチンの予防接種に対して助成をしてはどうか。

答 麻しんや風しんのワクチンとは異なり、高い感染予防効果を期待することはできず、任意接種に位置づけられている。今後は医師など専門職を交えて十分な検討を行う必要があると考える。

問 子どものインフルエンザワクチン予防接種における今後の啓発について伺う。

答 手洗いやうがい、体調管理、人混みを避けるなど、様々な予防行動を徹底することが重要で、これらの情報発信を広報紙やホームページなどを通して行う。

保育施設で働く方々の処遇改善を

問 潜在保育士などの問題を含め、なくてはならない保育士等の方々に、仕事を辞めずに定着してもらうには、どのような対策が必要か。

答 国の施策に伴い、業務負担軽減のためのICT化など保育士を確保するための補助、市独自の

取組として、園長先生や主任の先生方に向けた研修会も実施している。

問 現場で働く方々の献身的な仕事によって、保護者の方々も保育園などの施設に安心して預けることができる。そこで保育施設で働く方の処遇を改善する取組はできないか。

答 国の定める公定価格において、処遇改善加算が設けられている。平成24年度以前と比較して、令和4年度時点で平均18%の賃金改善、対象職員にはさらに月額5000円から4万円の手当が支給されている。そのうち市が4分の1以上を負担している。今後の取組についても調査、研究を行う。

潜在保育士とは？

保育士の資格を持っていても、保育士として働いていない人のこと。

農畜産業に伊佐市独自の支援対策を！

市長／国の支援状況等を見ながら対応

庵下 信一 議員



レンタル事業の導入を図れば、農機具費の削減が期待できる。また、新規参入農家もインシヤルコストの削減により参入しやすい環境になる。

問 レンタル事業として機械類を新たに導入して行うことは、維持管理を含めて多額の費用を要する。また、操作指導やメンテナンス、貸し借りの管理など人材の確保も必要となり、費用対効果を考慮すると農業公社の事業としてレンタル事業を導入することは難しい。

問 子牛の生産費は、飼料費が一番のウエートを占めており、飼料の自給にも取り組まれている。生産費削減には受胎出産の回転率を上げる取組が肝要なため、発情検知器の導入に購入費の助成はできないか。

問 水稲の生産費は、農機具費が大きなウエートを占めている。収支均衡を目指すには、所有からレンタルへ。農業公社に

につながる。現状では繁殖農家からの要望等は届いていないが既に導入されているところもある。効率性や効果など費用対効果等を検証していきたい。

新庁舎は大口庁舎並の面積で建設を

問 市長は、菱刈庁舎を残し活用する、なくすることは考えていない、また、ふれあいセンターの一部も庁舎として活用するとされていることから大口庁舎並の4000㎡で充分では。

問 子牛の生産費は、飼料費が一番のウエートを占めており、飼料の自給にも取り組まれている。生産費削減には受胎出産の回転率を上げる取組が肝要なため、発情検知器の導入に購入費の助成はできないか。

問 発情検知器の導入により分娩後の初回発情を的確に発見し、受胎につなげることができれば生産率向上、経営の効率化



問 リスキリングとは、技術革新に対応するため

に新たな知識やスキルを獲得する、また獲得させることである。リスキリングの先事例として、「鹿屋市役所スマート化計画」「加賀市リスキリング宣言」があげられる。これらを踏まえ、リスキリング支援についての考えを示せ。

問 リスキリングとは、技術革新に対応するために新たな知識やスキルを獲得する、また獲得させることである。リスキリングの先事例として、「鹿屋市役所スマート化計画」「加賀市リスキリング宣言」があげられる。これらを踏まえ、リスキリング支援についての考えを示せ。

問 リスキリングとは、技術革新に対応するために新たな知識やスキルを獲得する、また獲得させることである。リスキリングの先事例として、「鹿屋市役所スマート化計画」「加賀市リスキリング宣言」があげられる。これらを踏まえ、リスキリング支援についての考えを示せ。

今、リスキリングが必要ではないか

市長／現状、必要性を感じていない

星野 二元興 議員



すべての子どもが夢を持てる街に

問 教育格差により将来の夢を諦めなければならぬ子どもが生まれることは、社会の責任として避けなければならない。そこで、教育格差、特に社会経済的背景（SES）に対する現在の対応。また今後の対策を伺う。

問 教育格差により将来の夢を諦めなければならぬ子どもが生まれることは、社会の責任として避けなければならない。そこで、教育格差、特に社会経済的背景（SES）に対する現在の対応。また今後の対策を伺う。

問 教育格差により将来の夢を諦めなければならぬ子どもが生まれることは、社会の責任として避けなければならない。そこで、教育格差、特に社会経済的背景（SES）に対する現在の対応。また今後の対策を伺う。

問 教育格差の是正には教師の資質、能力の向上が不可欠であると考えられる。伊佐市における教師の資質、能力の向上にむけた現在の取組、また今後の取組を示せ。

問 教育格差の是正には教師の資質、能力の向上が不可欠であると考えられる。伊佐市における教師の資質、能力の向上にむけた現在の取組、また今後の取組を示せ。

問 教育格差の是正には教師の資質、能力の向上が不可欠であると考えられる。伊佐市における教師の資質、能力の向上にむけた現在の取組、また今後の取組を示せ。



庁舎建設の市民説明会はいつ? 市長/今年度中には開催したい

遠矢 寿子 議員



問 9月議会で陳情が一部採択された、菱刈庁舎を支所として定める条例の検討状況は。

答 現在、企画政策課において、菱刈庁舎でできるだけの業務を取り扱えるよう業務の精査と検討を進めている。条例制定については、方針が固まったら新庁舎の供用開始に間に合うよう上程したい。

問 新庁舎の市民説明会はいつ頃の予定か。

答 今年度中には開催したい。

風力発電事業計画について

問 本市は民間事業者による再エネ事業を推進する立場なのか。

答 地球温暖化対策の観点からCO₂排出量実質ゼロを目指す取組を行うが、一民間事業者が行う個別の事業を推進する立場にはない。

問 2つの風力発電事業計画に対する市の意見書が出され、「布計地区は本市の水道水源の約4割を占めている」との記述がある。現在及び将来の市民の生存に不可欠な水を守るのか。水源涵養のための保安林の解除について市はもっと慎重になるべきではないか。

答 水源涵養保安林については慎重な保全対策が肝要であり、市民生活に支障のないような適正な土地利用が不可欠であると認識している。

問 特に山野地区の大型車両通行に伴う市民と通学路の安全確保、道路保護、健康被害、水源への影響、農地・農業用施設への影響、山頂部の土地改変により増加が予想される獣害、水害・土砂災害、風車の解体・撤去・原状回復等について事業者と協定を締結すべきではないか。

答 知事意見を踏まえ、国が審査、勧告を行い、計画変更も考えられる。その内容の精査を行い判断する。

【その他の質問】
男女共同参画の取組について
子どもたちを性被害から守るために

カヌー競技場・艇庫の今後の利用は

教育長/シンボリックスポーツとして推進していく
竹原 研二 議員



問 国体カヌー競技が行われた菱刈カヌー競技場・艇庫の今後の利用について伺う。

答 菱刈カヌー競技場及び艇庫の今後の利用については、国体開催を機に、本市のシンボリックスポーツとして、カヌーやドラゴンボートレース競技を推進していく。また、スポーツ合宿、大会開催についても、市カヌー協会と連携をしながら推進体制の整備に努めていきたいと考えている。

問 競技場・艇庫の老朽化が目立っているが把握しているか。

答 カヌー大会やドラゴンボートレース大会で使用する浮き桟橋が老朽化していることは把握しており、現在、補強も含め検討している。また、パラカヌー選手用の乗降場桟橋については、現在、本市の備品を使って市カヌー協会において仮設している状況にある。常設になると、設置可否も含めて、予算、財源の確保など、時間を要する問題でもある。また、障がい者用トイレのドアの状況については、現地を確認

をしている。今、カヌー艇庫の一つしかない多目的トイレなので、今後は障がい者用、野外の仮設トイレも含めて、勉強して検討していく。

鳥獣被害防止総合支援事業について

問 鳥獣被害防止総合支援事業対策について、栽培個所における防獣ネットの設置等、本市の設置状況を伺う。

答 鳥獣被害防止総合支援事業については、整備できる侵入防止策の種類は、ネット柵、電気柵、ワイヤーメッシュ柵、金網柵の4種類がある。今年度ワイヤーメッシュ柵を8地区で総延長約24km、総面積約49ha整備し、電気柵を1地区で延長約8km、面積約15ha整備する計画をしている。



ワイヤーメッシュ柵

重留多目的広場の利活用を

市長／利用法の検討を進める

久保 教仁 議員



問 昨年5月の市報によると、重留多目的広場に令和5年度より花等の植栽はしない、除草及び害虫駆除等の保全管理のみ

答 予算査定時点で保全管理のみを実施する金額が不確定であったことから、前年度並みの要求とした。令和5年度は、保全管理のみとして477万5100円で業務委託契約を締結している。別の使用計画で使用するまでは、おおむね500万円程度が保全管理のみの業務委託費として必要になると考えている。このまま継続して保全管理費がかかるのは好ましくない。現在その利用

を行っていくとある。一方で、令和5年度新年度予算では、780万4000円が重留多目的広場管理事業として予算化されている。ここに齟齬(そご)がみられる。予算化後、市報発表に至った経緯について説明を求め。また、今年と同様な取り組みを続けると年間いかほどの経費を見込んでいるのか伺う。さらには、今後の重留多目的広場をどのように活用していく考えか問う。



重留多目的広場

問 重留多目的広場は、敷地面積のほぼ中央を東西に市道が走っている。この二分された北側を宅地、南側を農地に地目変更し、宅地部分を分譲住宅として、南側の農地部分を市民農園として活用できないか伺う。

答 特別支援学校分置について、今年度末に県が結果・方向性を出してくる。候補から外れた段階で、企業誘致や宅地分譲など利用法の検討を進めたい。

事業別具体内容

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
森林整備	1,469万7,000円	238万4,000円	546万円	392万円
人材育成・担い手	32万円	32万円	94万円	593万4,000円
木材利用・普及啓発	—	19万7,000円	—	—
事業合計	1,501万7,000円	290万1,000円	640万円	1,161万9,000円

問 令和元年度から令和4年度までの事業実績別具体内容と、譲与税基金の状況を示せ。

答 表のとおり。



伊佐市森林環境譲与税基金状況

	交付額	事業費	事業残額	基金積立額
令和元年度	1,670万7,000円	1,501万7,000円	169万円	1,020万3,000円
令和2年度	3,550万2,000円	290万1,000円	3,260万1,000円	4,280万5,278円
令和3年度	3,556万5,000円	640万円	2,916万5,000円	7,197万1,987円
令和4年度	4,828万2,000円	1,161万9,000円	3,666万3,000円	1億863万6,576円

問 新庁舎建設に伴う、地元産材の木材利用と木質化のイメージ及び譲与税基金の活用について見解を伺う。

答 地元産材を可能な限り使用したいと考えているが、調達コストを考慮すると伊佐産材の限定は難しいと考える。木質化の活用イメージは、屋内広場や窓口、議場等の壁、廊下について木質化を行う予定で設計を進めている。また、ふれあいセンターにおいて、図書館等の壁や床の木質化、及び木材を利用した備品等の活用を検討している。財源についても、林務課と協議を行いながら、森林環境譲与税の活用について協議している。

森林環境譲与税の積
極的な活用を
市長／実情に応じた効果的運用
を進めている

岩元 努 議員





説明なく住民無視の 庁舎建設

市長／財源に期限がある。部分発注に理解いただきたい

畑中 香子 議員



問 昨年の説明会では58億1000万円との説明であったが、臨時議会で80億を超えることが明らかになった。説明がないまま部分発注をすすめることは住民無視ではないのか。

答 周辺の整備も必要であり、地元業者に関わっていたためにも工事の種類ごとに可能な限り分割して発注する。新庁舎建設やふれあいセンター改修のための財源にも期限があるためご理解いただきたい。

問 現在よりも2300㎡も大きくしなければならぬ理由は。「こんなごちゃごちゃした庁舎のまちは住みたくない」との声が紹介されたが、

大きな庁舎を作つて欲しいとの声が何件あったか。意見聴取の方法は。

答 移住して来られた方の声として直接聞いた。今後、定住促進を図っていく上で大事なことだと考える。何件と統計を取っているわけではない。自分自身が実感として感じた。

問 パブリックコメントや説明会、署名の声は聞かずに、直接言われた都合のいいことだけを聞くのか。ふれあいセンターの一体化も、基本計画に沿って併設であればこのように費用増大を招かなかつたのでは。

答 8000㎡から6300㎡に縮減したが、

人件費や資材の高騰で費用が増大した。ふれあいセンターとの一体化は私が市長になる前から基本設計の発注の中で指示してあった。

航空機の超低空飛行問題

問 夜間に轟音とともに超低空飛行を行う航空機が目撃されているが、抗議を行わないのか。

答 県市長会において要請を行っている。

【その他の質問】
隣保館の運営について「すぐやる課」の設置について

ガザ地区の平和実現を求める決議 全会一致で可決

伊佐市議会では令和4年3月議会において「ロシアによるウクライナ侵略に断固講義する決議」を行いました。この度、ガザ地区における紛争の一日も早い停戦と平和の実現を願い、全会一致で以下の決議を行いました。

ガザ地区における早期の平和実現を求める決議

イスラエルに対するハマスによる奇襲攻撃に端を発した大規模な戦闘の開始から2か月以上が経過した。

この戦闘により、ガザ地区において多くの子どもたちを含む一般市民が犠牲となり、深刻な人道危機が生じている。

伊佐市は2011年1月、世界各国の都市と力を合わせて平和な世界の実現に取り組むために平和首長会議に加盟した。

本市議会は平和を求めるすべての市民とともに、一刻も早い紛争の終結に向け、関係するすべての当事者と国際社会に対し、最大の努力を求め、以下のことを決議する。

- 1 即時の人道的停戦とともに、人質の即時解放を求める。
- 2 国際法の遵守及び国連総会決議の尊重を求める。
- 3 危機的人道状況の改善のための人道支援の強化・拡大を求める。



伊佐市議会

令和5年12月22日

議会のとりくみ

肥薩四市議会議員研修会

令和5年11月17日



シルバー人材センターとの懇話会

令和5年11月14日



五市(出水・伊佐・霧島・南九州・始良)合同研修会

令和6年1月26日



県市議会議員研修会

令和6年1月23日



昨年10月に開催された「燃ゆる感動がごしま国体」のカヌー競技「少年女子スプリント・カヤックシングル200mの部」で、優勝に輝いた植木さん。舞台となったのは、伊佐市を流れる川内川。幼い頃から仲間たちと練習を行い、また、河川清掃や稚魚放流などでも親しんできた思い入れのある場所です。だからこそ、必ず優勝する」と決めた日々の練習に励んできました。



Iisa no hito
Vol.8

練習では、どんな水上環境でも安定して力強く漕げるよう、筋トレや走り込み、ロープ登りなどの基礎に重点を置き、全身を鍛え、プレッシャーに打ち勝つ精神力を養うことも心がけてきました。国体前に体調を崩し、思うように練習できない時もありましたが、「今、できる事をやり切って、バストを尽くそう」と、自らを何度も奮い立たせました。そんな中、湯之尾校区から、校区カラーの紫色でのぼり旗を作成いただき、声援を肌で感じ、嬉しはずかしい初めての気持ちを経験。大会期間中も、会場内から多くの力強いご声援をいただき、地元開催のすこさを感じました。

200m決勝は、通学している大口明光学園がサテライトで全校応援をしてくれました。同級生が率先して応援の練習までしてくれたと聞き、優勝の嬉しさが倍増しました。在学中、どんな試合結果でも、いつも温かく受け入れたクラスメイトと先生方の強力なサポートに、文武両道を貫いた心から感謝しています。

伊佐カヌークラブ所属
植木 春華 さん

大口明光学園高等学校3年



「4月からは、鹿屋体育大学に進学予定です。今後も支えてくれる人への感謝を胸に、伊佐で培ってきた実力をさらに発揮できるように、大学でも切磋琢磨しさらなる高みを目指します」と、元気はつらつに決意を述べてくれました。

2020年に行われる予定だった国体でしたが、3年遅れの2023年に『燃ゆる感動かごしま大会』として国体が開催され、伊佐市ではカヌースプリント競技が行われました。

選手の方々は3年遅れたということで調整も大変だったと思いますが、地元伊佐市から9名の選手が出場されました。



地元選手による選手宣誓



成年女子カナディアンシングル



少年男子カヤックシングル



少年女子カヤックフォア

よるおもてなし





燃ゆる感動 かがしま国体



特別国民体育大会

熱い鼓動 風は南から

2023

カヌースプリント競技

会場：菱刈カヌー競技場



女子200mカヤックシングル優勝



鹿児島県選手団



成年男子カナディアンペア



成年男子カナディアンシングル

伊佐市の方々に





温暖な気候を利用した農業ハウスを視察



竹田郷の中学校を視察
(ヴァイオリン演奏で出迎えていただきました。)

《花蓮市訪問団が伊佐市を訪問》 令和5年11月27日（月）

花蓮市長をはじめとする訪問団が伊佐市役所を表敬訪問し、伊佐市議会を代表して森田議長が歓迎の挨拶を行いました。また、歓迎会には市議会議員も多数参加し、今後の台湾との友好交流推進について意見交換しました。

なお、令和6年1月31日、伊佐市議会代表を含む伊佐市訪問団が花蓮市を訪問し、両市の友好交流協定に調印しました。



花蓮市長から友好の品を受け取る議長



花蓮市訪問団との集合写真



大口酒造第二蒸溜所の視察



歓迎会 伊佐伝承館 永祿 えいりく

台湾との交流

伊佐市では、コロナ禍後のインバウンド復活や熊本への台湾の半導体メーカーTSMC進出等の状況を踏まえ、台湾との友好交流を推進しています。

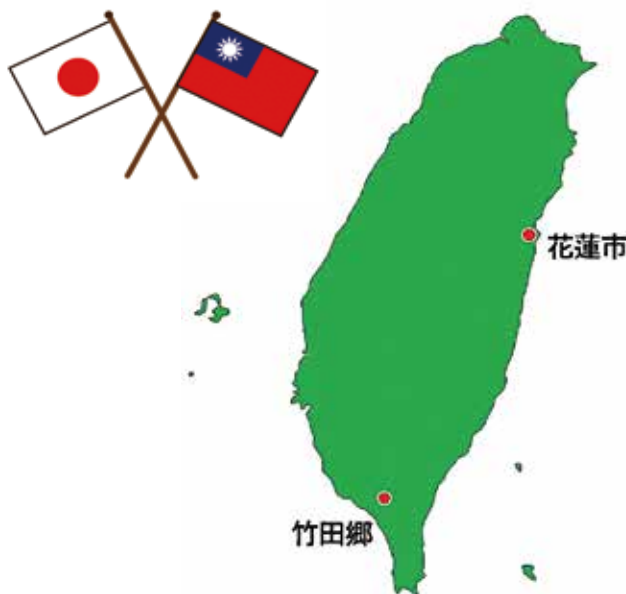
《交流を推進している台湾のまち》

かれんし (花蓮県)
花蓮市

太平洋に面した人口約10万人の海岸都市。太魯閣渓谷など、台湾を代表する観光地

たけだごう (屏東県)
竹田郷

台湾南部に位置し、温暖な気候を利用したレモンの栽培などが盛んな、人口約1万6千人の農業地域



《伊佐市訪問団が竹田郷を訪問》 令和5年9月25日（月）～27日（水）

伊佐市訪問団の一員として、森田幸一議長が台湾・屏東県の竹田郷を訪問しました。

現地では、竹田郷長はじめ住民の皆様が歓迎してくださり、日本で議会に相当する竹田郷民代表会の皆様とも交流を行いました。



竹田郷役場 表敬訪問 議長挨拶



竹田郷役場を表敬訪問

令和6年 第1回定例会のお知らせ

○本会議は午前10時開会です。

2月

20日(火)	本会議(招集日)
26日(月)	本会議(2日目)一般質問
27日(火)	本会議(3日目)一般質問
28日(水)	本会議(4日目)一般質問

3月

5日(火)	本会議(5日目)総括質疑
6日(水)	文教厚生委員会(9時から)
7日(木)	総務産業委員会(9時から)
11日(月)	一般会計予算決算委員会(9時から)
13日(水)	一般会計予算決算委員会(9時から)
15日(金)	一般会計予算決算委員会(9時から)
21日(木)	本会議(最終日)

※日程は変更になることがあります。

○通常は月初めの「広報いさ」と同時に定例会日程及び各議員の一般質問内容をお知らせするチラシをお届けしておりますが、3月議会は2月20日招集、同26日から一般質問が始まるため日程的にお知らせが間に合わず、チラシのお届けがありません。どうかご了承ください。

各議員の一般質問内容や予定日等は伊佐市ホームページをご覧ください。か、議会事務局(☎23-1335)にお問い合わせください。

「伊佐市議会だより」で、議会のさまざまな情報をお伝えしています。

編集・発行責任者

議長 森田 幸一

議会広報等特別委員会

委員長 遠矢 寿子

副委員長 畑中 香子

委員 竹原 研二 岩元 努
庵下 信一 武本 進一



議員と語る会

申し込みがありました3団体(グループ)の方々とは意見交換を行いました。

令和5年10月20日

○子育てグループ

テーマ：伊佐での子育てについて

委員会：文教厚生委員会



令和5年10月28日

○飼い主のいない猫を減らし隊(ニャンコ隊)

テーマ：飼い主のいない猫トラブルを解決するために
委員会：文教厚生委員会



令和5年10月20日

○緑創愛林会

テーマ：これからの伊佐の林業(再生エネルギー、林業大学校、ヤマヒル、獣害駆除など)

委員会：総務産業委員会 他委員



議会を自宅等のインターネットでも視聴できます。

(市議会の生中継や録画を映像配信しています)

【伊佐市ホームページ】

↓
【行政・議会】

↓
【議会】

↓
【議会インターネット映像中継】

大口庁舎、菱刈庁舎、まごし館では議会ライブ中継をご覧ください。



※編集後記※

今年も新年早々、衝撃的なニュースで幕を開けました。

被災された多くの方々に、お悔やみと、お見舞いを申し上げます。

自然災害は、いついかなる時に襲ってくるか予想もつきません。突然、私たちの日常にある大切な家族や友人との楽しい時間、そして何にも代えがたい尊い命まで全て容赦なく奪い去ります。私たちにできることは、各家庭で災害に対する話し合いの時間や備えをしておくこと。この事が災害にあったときに命をつなぐ方法、術すべとなることでしょう。

さて皆さんはいつからはじめますか。

岩元 努